

### 山陰で初受賞 料理マスタースブロンズ賞 和彩空間 たち花 立花秀明さんが受賞



▲立花さん(左)と溝口島根県知事(11月26日知事表敬)

11月6日、和彩空間たち花の店主・立花秀明さん(横田)が、農林水産省の料理人顕彰制度「料理マスタース」のブロンズ賞を受賞されました。この賞は、生産者や食品企業等と協働した様々な取組に尽力した料理人を顕彰するものです。

立花さんは奥出雲の食材発掘に力を入れ、食材の味を活かした「奥出雲づくし懐石」を提供し、地域の食材のよさや食文化を後世に伝える活動などが評価されました。

13日、勝田町長に受賞報告を行った立花さんは、「この受賞を通じて、奥出雲の魅力をアピールしていきたい」と今後の意欲を示されました。また、知事表敬では「奥出雲は食材の宝庫、誇りを持って料理していきたい」と話されました。

### 第68回仁多郡駅伝競争大会 町内外から12チームが参加



▲スタート前の緊張の一瞬

11月18日、第68回仁多郡駅伝競争大会が開催され、第1部の支部対抗に9チーム、第2部の一般参加に3チームが参加しました。

号砲とともに12人の選手が馬木コミュニティセンター前を勢いよく出発し、横田コミュニティセンターまでの6区間23.9kmを襷でつなぎました。今年は横田地域を巡るコースで、3区、4区、5区で区間新記録が生まれる好レースが展開されました。

#### 大会結果

##### 第1部(支部対抗)

優勝 三成支部(1時間15分26秒)

準優勝 阿井支部(1時間19分52秒)

第3位 布勢支部(1時間20分51秒)

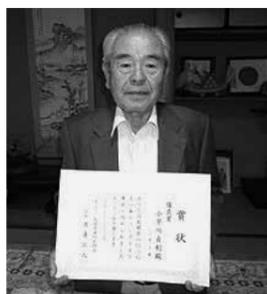
##### 第2部(一般参加)

優勝 雲南三掛吉(1時間16分14秒)

準優勝 島根大学医学部陸上競技部(1時間33分7秒)

第3位 IGENKIDS!(1時間26分11秒)

### 8020よい歯のコンクール表彰 奥出雲町より2人が優良賞を受賞



▲小早川さん



▲小池さん

島根県歯科医師会主催の8020よい歯のコンクールにおいて、小早川貞利さん(八川)と小池太郎さん(横田)が優良賞を受賞されました。

小早川さんは現在83歳で32本の歯を、小池さんは現在91歳で24本の歯を保持されています。2人とも定期的に歯科医院を受診され、歯磨きでは自分にあった歯ブラシを使うなど工夫をされてきました。

受賞にあたり、自分の歯で肉などのかたい物を噛んで食べることの喜びなどを話されました。受賞おめでとうございます。

歯と口の健康は、日々の手入れが大切です。80歳になっても20本以上の歯を保つため、かかりつけ歯科医院をもち、定期的に受診しましょう。

### 横田蔵市からスポーツ用品 「トリコロキューブ」を寄贈いただきました



▲レシート募金で寄贈されたトリコロキューブ

協同組合横田ショッピングセンター(横田蔵市)は地域貢献活動として、健康増進及びスポーツ振興を目的に、10月1日から14日にかけて100縁まつりレシート募金に取り組みました。集まった募金の一部をスポーツ用品に換え、11月28日、町に寄贈いただきました。

役場横田庁舎で行われた贈呈式では、安郷弘泰理事長から「多くの皆様にご協力いただき130万円余りの募金を集めることができた。今後も地元企業として、地域に密着し、住んで良かったと思えるまちづくりに貢献していきたい」とあいさつがあり、塔村教育長に目録が手渡されました。

今回、軽スポーツのトリコロキューブで使用する用具3セットを寄贈いただきました。昨年寄贈いただいた児童・生徒用図書とともに、広く町民の皆様に親しまれることを願います。

現在、オランダのアムステルダム国立美術館に展示されている岩屋寺の仁王像を、オランダの伝統芸術「デルフトブルー・タイル」で再現するプロジェクトが11月7日から始まりました。

このプロジェクトは町文化協会主催で、オランダ在住のビジュアルアーティストのイエツケ・ファン・ローンさんの協力により実現。仁王像に魅了されたイエツケさんは仁王像の由来地を求めて3年前から奥出雲町に毎年訪れています。

今回、横田地区の民家をスタジオにし、住民に参加を呼びかけ、原寸大の下絵を120枚に切りわけた15cm四方のタイルに青い顔料で描くワークショップを行いました。また、日蘭の文化的交流を促進する目的もあり、オランダ市民にもタイル画を描いてもらうことで、日蘭の共同作品となりました。

完成した作品は30日、横田コミュニティセンター1で披露され、制作に携わった住民50人が駆けつけて作品の完成を喜びました。イエツケさんは「1ヶ月の滞在の間に訪

作品完成を住民と喜ぶイエツケさん(右)

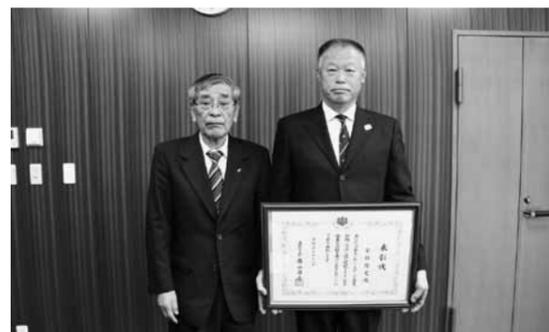


窯出しには島根リハビリテーション学院作業療法学科2年生が協力



絵付けの様子

### 生涯スポーツ功労者表彰 安部隆史さんが受賞



▲受賞された安部さん(右)と勝田町長

地域におけるスポーツ振興に顕著な成果をあげたスポーツ関係者を文部科学大臣が表彰する生涯スポーツ功労者表彰を安部隆史さん(三成)が受賞されました。

安部さんは平成8年から平成30年までの22年間、社会人ホッケーチームSelrio島根の監督として指導及び選手育成を行い、町のホッケー競技の普及及び発展に貢献されてきました。

この度の受賞について、安部さんは「地域の皆様の協力により受賞することができた。今後も子どもがホッケーを楽しめる環境づくりを行いたい」と喜びを話されました。

## デルフトブルーで甦る仁王像 オランダと奥出雲の絆をつなぐ

現在、オランダのアムステルダム国立美術館に展示されている岩屋寺の仁王像を、オランダの伝統芸術「デルフトブルー・タイル」で再現するプロジェクトが11月7日から始まりました。

このプロジェクトは町文化協会主催で、オランダ在住のビジュアルアーティストのイエツケ・ファン・ローンさんの協力により実現。仁王像に魅了されたイエツケさんは仁王像の由来地を求めて3年前から奥出雲町に毎年訪れています。

今回、横田地区の民家をスタジオにし、住民に参加を呼びかけ、原寸大の下絵を120枚に切りわけた15cm四方のタイルに青い顔料で描くワークショップを行いました。また、日蘭の文化的交流を促進する目的もあり、オランダ市民にもタイル画を描いてもらうことで、日蘭の共同作品となりました。

れた人から仁王像に関する話を聞かせてもらい楽しい日々を過ごせた。皆さんの集中力や努力により想像以上の作品ができた」と感謝を伝えました。そして、仁王像は一对で、今回制作したのは開口した姿の阿形像。来年は口を結んだ阿形像を制作したいと語りました。

山本勝昭文化協会会長は「イエツケさんの熱い思いが国を越えて今回の文化交流につながった。この交流がさらに深まることを期待する」と日蘭の交流促進に期待を寄せていました。

### (公社)全国和牛登録協会功労者表彰 泰中静江さんが受賞



▲賞状を手にする泰中さん

6月21日、京都市で開催された公益社団法人全国和牛登録協会創立70周年記念式典において、泰中静江さん(阿井)が登録事業功労者表彰を受賞されました。

泰中さんは、和牛の飼育に従事し、昭和58年より畜産婦人部の役員を歴任。女性視点での育成管理技術の研修や会員の牛舎巡回による現場指導を行うほか、地元の共進会では和牛の魅力を知ってもらうため、小学生を対象とした勉強会を行うなど、永年にわたる活動の功績が認められ、この度の受賞となりました。

受賞おめでとうございます。